



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ  
 コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東大

(氏名) 青木 達也  
 (氏名) 小笠原 一成  
 配当支払開始予定日 平成24年12月3日  
 TEL 06-6376-8088

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,140	△1.9	285	△33.2	583	△15.2	393	27.8
24年3月期第2四半期	27,653	△7.8	427	386.2	687	88.8	307	762.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 427百万円 (44.7%) 24年3月期第2四半期 295百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	39.36	—
24年3月期第2四半期	30.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	41,507	15,857	37.8	1,569.30
24年3月期	41,984	15,430	36.4	1,530.17

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,670百万円 24年3月期 15,279百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	14.00	—	0.00	14.00
25年3月期	—	12.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	19.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,870	2.2	1,110	80.1	1,620	27.7	1,020	168.4	102.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	11,025,032 株	24年3月期	11,025,032 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,039,597 株	24年3月期	1,039,637 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	9,985,429 株	24年3月期2Q	9,985,395 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は終了いたしております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
(7) 重要な後発事象	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の未曾有の打撃から徐々に復興を果たし、社会経済においても緩やかながらも再生の兆しが展望できる状況にあります。しかしながら、国内においては、消費税増税、電気料金の値上げといった景気動向に大きく影響のある問題など、依然、景気の見通しについて楽観は許されない状況にあります。

当社グループは、こうした厳しい経済環境の中にあつて、持ち帰り弁当事業では、事業の原点に立ちかえった姿勢こそが最重要との認識のもと、食の安全・安心への「こだわり」をビジネスの中心に据え、お客様の多様なご要望にもお応えできるよう、食材を厳選し、食材の持つ本来の美味しさを最大限に活かせる商品づくりを目指してまいりました。

また、店舗委託事業では、お客様のご要望にお応えすべく、お客様がご負担する家賃の引き下げを実現するとともに、業務を委託する新規のお客様の獲得に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高271億40百万円（対前年同期比1.9%減）、営業利益2億85百万円（対前年同期比33.2%減）、経常利益5億83百万円（対前年同期比15.2%減）、四半期純利益3億93百万円（対前年同期比27.8%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### ①持ち帰り弁当事業

地域の人たちの「わたしの街の台所」として愛される「ほっかほっか亭」では、食の安全・安心を第一に、食を通じて「前を向くチカラ」を提供することをテーマとして、長年に亘りご好評をいただいております定番商品の磨き上げを継続するとともに、有名キャラクターとタイアップした「夏のオードブルキャンペーン」を実施するなど、お客様のニーズ、消費志向を重視した積極的な展開を行っております。

この結果、持ち帰り弁当事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は123億64百万円（対前年同期比2.3%減）、営業利益は7億34百万円（対前年同期比24.4%減）となりました。

#### ②店舗委託事業

外食業界におきましては、市場が収縮する中、業態を越えた競争が激しさを増すなど、厳しい環境が続いております。そのような中、引き続き優良な委託先の発掘および未稼働店舗の減少に努め、家賃負担の低減を図ってまいりました。

この結果、店舗委託事業の当第2四半期連結累計期間売上高は118億86百万円（対前年同期比4.9%増）、営業利益は55百万円（前年同期は営業損失1億4百万円）となりました。

#### ③店舗管理事業

店舗管理事業におきましては、経済情勢を反映して、コスト削減意識に拍車がかかり軟調な状態が続いております。そのような中、物件の管理料等の削減を進めることで、前年同期を上回る収益を確保いたしました。

この結果、店舗管理事業の当第2四半期連結累計期間売上高は3億円（対前年同期比1.7%減）、営業利益は1億77百万円（対前年同期比68.0%増）となりました。

#### ④店舗直営事業

店舗直営事業の寿司チェーン店（びっくり寿司）等では、衛生管理と商品の鮮度に重点を置き、選りすぐりの旬のネタを提供いたしております。また同時に不採算店舗の閉鎖及びオペレーションの最適化を進め、事業収益力の向上に努めてまいりました。

この結果、店舗直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は11億65百万円（対前年同期比32.5%減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失1億65百万円）となりました。

#### ⑤その他

フレッシュ・ベーカリー事業につきましては、既存商品のブラッシュアップ、アイテム数の見直しを行い、生産効率の向上を図ってまいりました。また、人気商品「クインシー」において、練乳入りハード系生地に練乳クリームをサンドしたミルクフランスや北海道産小豆とホイップクリームを合わせた小倉クリームを発売し好評をいただいております。

物流関連事業につきましては、配送効率の向上、コスト低減とともに、グループ外の営業取引拡大を進め、事業基盤と収益力の強化に努めております。

この結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は14億22百万円（対前年同期比13.1%減）、営業利益は30百万円（対前年同期比477.4%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億77百万円減少し、415億7百万円となりました。主に現金及び預金の増加6億68百万円、建物及び構築物が4億58百万円、長期未収入金が4億41百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億4百万円減少し、256億49百万円となりました。主に買掛金の増加1億81百万円、負ののれんが1億67百万円、1年内返済予定長期借入金が7億35百万円それぞれ減少したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ4億27百万円増加し158億57百万円となりました。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ39.13円増加し1,569.30円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の36.4%から1.4ポイント上昇し37.8%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間末と比べ、1億59百万円減少し、また前連結会計年度末と比べ、6億68百万円増加して59億88百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、前年同期に比べ3億26百万円増加し14億89百万円となりました。これは主に、負ののれん償却額1億43百万円、貸倒引当金の減少3億23百万円および法人税等の支払2億65百万円の支出がありましたが、税金等調整前四半期純利益6億23百万円、減価償却費の計上7億50百万円に伴う収入などによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は1億78百万円（前年同期は2億12百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億22百万円がありましたが、有形固定資産の売却2億20百万円、差入保証金の純増額1億45百万円の獲得による収入などによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は前年同期に比べ1億38百万円増加し10億円となりました。これは主に、長期借入れによる収入23億69百万円の獲得および長期借入金の返済による支出20億71百万円、短期借入金の減少に伴う支出11億13百万円などによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結業績につきましては、当期純利益において予想を上回る実績となりましたが、通期の連結業績予想については、先行きの見通しにくい経済環境であり、市況や業績動向がより明確になった時点で見直しを検討してまいります。現時点にて、平成24年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,321,679	5,989,805
受取手形及び売掛金	2,568,123	2,456,784
商品及び製品	771,969	766,239
原材料及び貯蔵品	133,238	130,193
繰延税金資産	143,755	145,838
その他	1,660,236	1,760,792
貸倒引当金	△223,494	△248,178
流動資産合計	10,375,509	11,001,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,638,647	8,180,329
機械装置及び運搬具（純額）	97,247	85,455
工具、器具及び備品（純額）	584,726	521,533
土地	12,198,333	12,194,216
リース資産（純額）	155,962	142,837
建設仮勘定	25,200	—
有形固定資産合計	21,700,119	21,124,373
無形固定資産		
のれん	278,065	254,044
その他	184,554	162,875
無形固定資産合計	462,619	416,920
投資その他の資産		
投資有価証券	1,602,070	1,610,981
長期貸付金	374,430	297,216
敷金及び保証金	6,111,220	5,924,173
繰延税金資産	97,088	94,226
長期未収入金	2,284,196	1,842,387
その他	1,050,743	920,545
貸倒引当金	△2,073,373	△1,724,931
投資その他の資産合計	9,446,377	8,964,599
固定資産合計	31,609,116	30,505,892
資産合計	41,984,625	41,507,367

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,634,926	2,816,622
短期借入金	2,945,100	1,832,000
1年内返済予定の長期借入金	3,003,836	2,268,436
未払金	1,219,905	1,232,040
未払法人税等	291,452	202,774
未払消費税等	149,663	132,408
賞与引当金	155,230	163,939
その他	1,899,854	1,958,243
流動負債合計	12,299,969	10,606,464
固定負債		
社債	127,500	110,000
長期借入金	8,691,840	9,724,822
退職給付引当金	45,099	44,071
負ののれん	896,851	729,195
長期預り保証金	3,290,198	3,320,047
繰延税金負債	384,615	379,177
資産除去債務	333,882	321,971
その他	484,461	413,791
固定負債合計	14,254,450	15,043,075
負債合計	26,554,419	25,649,540
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,930,816
利益剰余金	8,822,950	9,215,996
自己株式	△1,515,070	△1,515,050
株主資本合計	15,275,346	15,668,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,021	1,740
その他の包括利益累計額合計	4,021	1,740
少数株主持分	150,838	187,673
純資産合計	15,430,206	15,857,827
負債純資産合計	41,984,625	41,507,367



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	27,653,921	27,140,003
売上原価	21,035,032	20,728,617
売上総利益	6,618,889	6,411,385
販売費及び一般管理費	6,190,985	6,125,551
営業利益	427,904	285,833
営業外収益		
受取利息	15,388	8,083
受取配当金	3,445	3,964
受取賃貸料	90,391	106,559
負ののれん償却額	167,655	167,655
業務委託契約解約益	154,652	106,007
持分法による投資利益	12,708	10,433
その他	133,014	117,633
営業外収益合計	577,257	520,338
営業外費用		
支払利息	120,288	90,221
賃貸費用	36,538	30,165
業務委託契約解約損	81,057	37,063
訴訟費用	27,185	22,155
その他	52,239	43,181
営業外費用合計	317,310	222,787
経常利益	687,850	583,384
特別利益		
固定資産売却益	25,310	81,288
受取和解金	—	21,640
その他	—	1,800
特別利益合計	25,310	104,728
特別損失		
固定資産除却損	56,115	42,060
固定資産売却損	—	1,328
店舗撤退損失	20,208	—
その他	—	21,093
特別損失合計	76,323	64,482
税金等調整前四半期純利益	636,837	623,630
法人税、住民税及び事業税	285,733	199,583
法人税等調整額	32,883	△5,834
法人税等合計	318,616	193,748
少数株主損益調整前四半期純利益	318,220	429,881
少数株主利益	10,786	36,835
四半期純利益	307,433	393,045

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	318,220	429,881
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△19,742	△1,367
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,243	△913
その他の包括利益合計	△22,985	△2,280
四半期包括利益	295,234	427,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284,448	390,764
少数株主に係る四半期包括利益	10,786	36,835

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	636,837	623,630
減価償却費	785,318	750,172
負ののれん償却額	△128,850	△143,674
固定資産売却損益 (△は益)	△25,310	△79,959
固定資産除却損	56,115	42,060
店舗撤退損失	20,208	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△84,977	△323,758
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,109	8,708
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,068	△1,028
受取利息及び受取配当金	△18,834	△12,048
支払利息	120,288	90,221
持分法による投資損益 (△は益)	△12,708	△10,433
売上債権の増減額 (△は増加)	178,860	111,339
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△430,171	8,775
仕入債務の増減額 (△は減少)	340,630	181,695
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△79,299	△17,255
その他	151,314	525,781
小計	1,516,600	1,754,226
法人税等の支払額	△409,298	△265,282
法人税等の還付額	56,231	893
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,163,533	1,489,837
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	19,570	12,197
有形固定資産の取得による支出	△186,384	△222,274
有形固定資産の売却による収入	208,054	220,664
有形固定資産の除却による支出	△23,839	△23,311
無形固定資産の取得による支出	△18,708	△3,324
無形固定資産の売却による収入	132	311
投資有価証券の取得による支出	△25,000	—
関係会社株式の取得による支出	△572,114	△1,487
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△17,701	8,672
長期貸付けによる支出	△161,619	△52,057
長期貸付金の回収による収入	67,896	24,826
差入保証金の純増減額 (△は増加)	136,866	145,975
その他	360,638	68,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△212,209	178,792

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△94,904	△88,578
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△51,500	△1,113,100
長期借入れによる収入	6,030,000	2,369,000
長期借入金の返済による支出	△6,553,918	△2,071,418
社債の償還による支出	△17,500	△17,500
自己株式の売却による収入	—	20
配当金の支払額	△121,035	△293
リース債務の返済による支出	△24,637	△39,714
その他	△28,724	△38,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	△862,220	△1,000,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	△253	△179
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	88,849	668,125
現金及び現金同等物の期首残高	6,047,496	5,320,667
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,893	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,148,238	5,988,793

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	12,657,216	11,328,678	305,788	1,725,903	26,017,587
セグメント間の内部売上高又 振替高	252,349	1,470,495	—	3,808	1,726,653
計	12,909,565	12,799,174	305,788	1,729,711	27,744,241
セグメント利益又は損失(△)	971,410	△104,858	105,776	△165,595	806,732

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,636,334	27,653,921	—	27,653,921
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,839,240	3,565,893	△3,565,893	—
計	3,475,574	31,219,815	△3,565,893	27,653,921
セグメント利益又は損失(△)	5,271	812,003	△384,099	427,904

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△384,099千円には、セグメント間取引消去358,260千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△742,359千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	12,364,855	11,886,528	300,690	1,165,553	25,717,627
セグメント間の内部売上高又は 振替高	147,243	14,281	—	18,000	179,524
計	12,512,098	11,900,809	300,690	1,183,553	25,897,152
セグメント利益又は損失（△）	734,837	55,364	177,692	△3,709	964,184

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,422,375	27,140,003	—	27,140,003
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,722,843	1,902,368	△1,902,368	—
計	3,145,219	29,042,371	△1,902,368	27,140,003
セグメント利益又は損失（△）	30,434	994,619	△708,785	285,833

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・バーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△708,785千円には、セグメント間取引消去1,313千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△710,099千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

### 連結子会社の訴訟の判決

当社の連結子会社である株式会社ほっかほっか亭総本部（以下「総本部」）が、株式会社プレナス（以下「プレナス」）に対して提起しておりました訴訟（控訴審）について、東京高等裁判所より判決の言い渡しを受けました。訴訟及び判決の内容等は次のとおりであります。

#### (1) 判決のあった裁判所及び年月日

東京高等裁判所  
平成24年10月17日

#### (2) 訴訟の内容等

##### ①訴訟の提起から判決に至るまでの経緯

当社の子会社である総本部は、総本部がマスターフランチャイザーとして展開する持ち帰り弁当販売事業「ほっかほっか亭」に関して、プレナスをエリアフランチャイザー（地域本部・地区本部）とするフランチャイズ契約を締結しておりましたが、プレナスが契約違反行為を繰り返したことから、平成20年12月16日付で、プレナスに対して、契約違反に基づく損害賠償を請求する訴訟を提起しております。本件訴訟については、平成22年5月11日付にて、東京地方裁判所より、

- (1) 原告の請求を棄却する。
- (2) 訴訟費用は原告の負担とする。

との判決が言い渡されておりましたが、総本部といたしましては、当該判決は到底納得できるものではなかったことから、当該判決の是正を求め、平成22年5月25日付で東京高等裁判所へ控訴し、プレナスに対し、金23億2,698万円及びこれに対する遅延損害金の支払いを求めていたものであります。

##### ②訴訟を提起した子会社（原告・控訴人）の概要

商号	株式会社ほっかほっか亭総本部
所在地	東京都港区浜松町二丁目4番1号
代表者の氏名	代表取締役 青木 達也
事業内容	持ち帰り弁当の販売、ほっかほっか亭フランチャイズ業
資本金	30,000,000円

##### ③訴訟の相手方（被告・被控訴人）の概要

商号	株式会社プレナス
所在地	福岡市博多区上牟田1丁目19番21号
代表者の氏名	代表取締役 塩井 辰男

#### (3) 判決の内容等

東京高等裁判所の判決の内容は以下のとおりです。

##### ① 原判決を次のとおり変更する。

イ. 被控訴人は、控訴人に対し、10億9,008万円及びこれに対する平成20年12月28日から支払い済みまで年6分の割合による金員を支払え。

ロ. 控訴人のその余の請求を棄却する。

##### ② 訴訟費用は、第1、2審を通じ、これを4分し、その1を被控訴人の負担とし、その余を控訴人の負担とする。

##### ③ この判決の①、イは、仮に執行することができる。

#### (4) 今後の見通し

本判決は、プレナスが「ほっかほっか亭」フランチャイズチェーンを離脱して「ほっともっと」フランチャイズチェーンを立ちあげるにあたり、総本部との間のフランチャイズ契約が定める競業禁止義務や傘下加盟店を承継すべき義務等に違反したことを認めるとともに、これらの義務違反は、フランチャイズ契約から生ずる総本部の利益を全て奪いかねない重大なものであったとして損害賠償責任を認めたものであります。

総本部はプレナスより平成24年10月22日付で損害元金10億9,008万円及び遅延損害金2億4,982万円の合計13億3,990万円について支払を受けております。

しかしながら、プレナスは平成24年10月31日付で最高裁判所に対して、上告の提起及び上告受理の申立を行っております。当社及び総本部といたしましては、この第二審の判決が尊重されるものと確信しておりますが、上告が提起されたことにより現時点では損益に与える影響は不明であります。